

学校情報

①学校の概要、目標及び計画

学校名	設置年月日	校長名	所在地・連絡先
仙台こども専門学校	平成24年4月1日	梅田 一成	〒984-0051 宮城県仙台市若林区新寺1丁目4-16 (電話) 022-742-5660
設置者名	設置年月日	代表者名	所在地・連絡先
学校法人 三幸学園	昭和60年3月8日	鳥居 敏	〒113-0033 東京都文京区本郷三丁目23番16号 (電話) 03-3814-6151
学校の教育・人材養成の目的			
本校は、学校教育法 に基づき、保育士及び幼稚園教諭として保育関連分野において活躍する人材を育成するため、必要とされる知識と技能を教授する事を目的とする。			
沿革	http://www.sanko.ac.jp/about/history/		

②各学科等の教育

学科	修業年限	入学定員	収容定員
保育科	2年	200人	400人
こども総合学科	3年	115人	345人

<客観的な指標の算出方法>

客観的な指標の算出方法
全履修科目の評定（5点法で示されたもの）の和を科目数で除したものを「評定平均」とし、年に2回（期末ごとに）一覧管理を行うことで、成績の分布状況を把握する。

<卒業要件について>

卒業要件	
<p>本校に修業年限以上在学し、所定の単位を修得し校長に卒業を認められた者に、卒業の認定を行う。</p>	
保育科	<p>学園の教育理念に基づき、2年間の学修を通じて、保育・福祉・教育の現場に必要な専門知識・技術を修得し、皆から信頼、感謝される態度・人間性を身につけ、社会でこどもの未来を育む人財に専門士を授与する。</p> <p>卒業までの学びの到達目標は以下の通り設定される。</p> <p>(1) 専門的な知識・技術の習得 こどもに対する愛情を持ち、保育と子育てに関する専門的知識や技術を習得するとともに、生涯にわたって学び続けようという姿勢を持つことができる</p> <p>(2) 現場で活躍できる実践力 学んだ知識や技術を活用し、周囲と連携しながらこども一人一人に合った保育を実践し、質の高い保育の実践を求めて成長し続けることができる</p> <p>(3) 皆から信頼される人間性 社会人として必要な挨拶、マナーを身につけ、素直な心・感謝の気持ち・高い意欲を持ち続け、自ら考え自ら行動することで社会に貢献することができる</p>
こども総合学科	<p>学園の教育理念に基づき、3年間の学修を通じて、保育・福祉・教育の現場に必要な専門知識・技術を修得し、さらに専門性を高めて実践力と自身の強みを向上させ、皆から信頼、感謝される態度・人間性を身につけ、社会でこどもの未来を育む人財に専門士を授与する。</p> <p>卒業までの学びの到達目標は以下の通り設定される。</p> <p>(1) 専門的な知識・技術の習得 こどもに対する愛情を持ち、保育と子育てに関する専門的知識や技術、こどもに関する教養やスキルを習得するとともに、生涯にわたって学び続けようという姿勢を持つことができる</p> <p>(2) 現場で活躍できる実践力 学んだ知識や技術を活用し、周囲と連携しながらこども一人一人に合った保育を実践し、質の高い保育の実践や社会の発展を求めて成長し続けることができる</p> <p>(3) 皆から信頼される人間性 社会人として必要な挨拶、マナーを身につけ、素直な心・感謝の気持ち・高い意欲を持ち続け、自ら考え自ら行動することで社会に貢献することができる</p>

<取得可能な資格について>

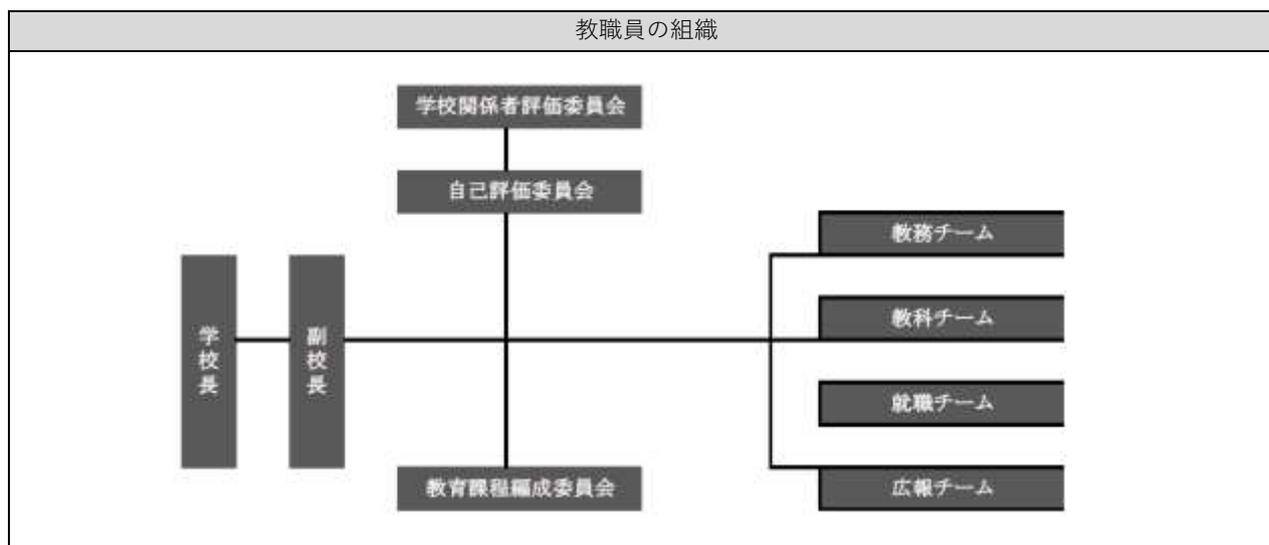
取得可能な資格	https://www.sanko.ac.jp/sendai-child/jobdata/skill.html
---------	---

<卒業後の主な進路について>

就職実績	https://www.sanko.ac.jp/sendai-child/jobdata/jobdata.html
------	---

③教職員

専任教員	22名
兼任教員	34名
事務職員	5名



<教職員の専門性について>

名前	専門分野	資格・職歴等
佐藤 久美	保育原理	社会福祉法人 花泉福祉会 花泉保育園、仙台市公立保育所、仙台市荒浜小学校敷地内 仙台市荒浜幼児学園等で保育士として勤務
狩野 陽子	乳児保育	仙台市立保育所、5ヶ所で保育士として勤務経験有
加賀谷 弘美	子どもの保健	仙台医療センター小児病棟看護師として勤務 他学でも小児保健担当講師として勤務
相馬 一美	音楽	ヤマハ音楽教室にてグループレッスン担当（主に3～6歳クラスを担当）、仙台・東京にてリサイタルに出演
安孫子 恵	実習指導	学校法人 東音学園 音の光幼稚園、学校法人 荒巻学園 あらまき幼稚園にて幼稚園教諭として勤務

④キャリア教育・実践的職業教育

キャリア教育への取組	https://www.sanko.ac.jp/sendai-child/jobdata/support.html
実習実技への取組	<p>カリキュラムに即した現場実習を行い、より実践的な教育機会としている</p> <p>【保育科(保育士・幼稚園教諭コース)】 教育実習20日間、保育実習(保育所)20日間、保育実習(施設)10日間</p> <p>【保育科(保育士コース)】 保育実習(保育所)20日間、保育実習(施設)10日間</p> <p>【こども総合学科】 保育観察実習5日間、教育実習20日間、保育実習10日間</p> <p>習得した教科全体の知識、技能を基礎とし、これらを総合的に実践する応用能力を養うため、児童に対する理解を通じて保育の理論と実践の関係について習熟することを目的として行う。</p> <p>実習前は事前学習、実習先との打ち合わせ、教材研究の方法など授業及び個別指導で実施する。実習中は訪問指導を行い、実習先とも連携しケアを行う。実習後は振り返りや経験を共有し、授業の中で自己の課題と向き合う。</p>

⑤様々な教育活動・教育環境

学校行事	https://www.sanko.ac.jp/sendai-child/schoolguide/year.html
------	---

⑥学生の生活支援

生活上の諸問題（中途退学、心身の健康）への対応	
<p>チーム担任制を取り、心身の健康問題、学校生活上の諸問題について早期発見・対応できるよう、日々個人面談等を実施している。また出欠席の状況等について、必要に応じて適宜保護者とも共有を図り、連携体制を整えている。</p> <p>また希望者に対してはスクールカウンセリングを行えるよう、カウンセラーを配置している。</p>	

⑦学生納付金・就学支援

学生納付金	https://forms.sanko.ac.jp/2dj23n/sendaichild/generalform.php?gfc=7ecp94&gl=1*s0e24g*_gcl_aw*R0NMLjE3NDc3MTc3ODEuQ2owS0NRanducm1sQmhESEFSSXNBREo1Yl9tdndwVE1rbFIYZ2hsZGNWTmVOSV9EazJf
就学支援	https://www.sanko.ac.jp/sendai-child/guidelines/tuition.html

⑧学校の財務

事業報告書	https://www.sanko.ac.jp/pdf/share/disclosure/9.pdf
-------	---